

## 令和5年度事業報告書

### はじめに

令和6年元日、能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が発生しました。石川県を中心とした地域で建物の倒壊や津波、地盤の隆起も相まってその被害は甚大なものとなり自然災害に対する無力さを感じたところです。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

国内で新型コロナウイルスの感染が初めて確認されてから4年目を迎えました。その間、拡大と縮小を繰り返し昨年5月にはその位置づけが5類に移行しコロナ禍からの脱却が進み経済社会活動が正常化する中でコロナ前の日常を取り戻しつつあります。また、昨年は気候変動から異常な猛暑が続き会員の皆様には大変ご苦勞をおかけしました。

令和5年度の国の経済状況は高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、前向きな動きがみられたものの日常生活では物価上昇に追いついていない状態でシルバー会員をはじめ多くの国民は経済成長の実感を得られていません。

こうした中、センターは地域の日常生活に密着した就業機会を会員に提供することはもとより、会員に限らず地域に暮らす高齢者のだれもが気軽に参加できるセミナーなどを積極的に展開し高齢者の「健康維持増進」「生きがいづくり」「社会参加」など、地域社会の活性化に取り組んでまいりました。

センター会員数はここ数年減少が続いていましたが、コロナからの脱却や入会促進が功を奏し前年度末270名（男性186名女性84名）から令和5年度末280名（男性191名女性89名）に10名増加しました。女性の割合も32%に上昇しています。契約件数は請負においてはコロナ対策事業の減、草刈りや剪定業務に従事する会員の減に伴う業務量の減少が、派遣では自動車ディーラーでの洗車業務の新規事業などにより増加しています。

今日までの町当局及び関係機関の適切なお指導・ご支援、会員の協力と町民の皆様のご深いご理解とご支援に感謝申し上げます。令和5年度事業の概要について報告いたします。

## 1 いきいきと元気で働く仲間づくり

### (1) 会員の増強

#### ・入会説明会

入会を希望する高齢者を対象に、センターの概要及び就業の仕組み等の説明会を保健福祉センターとセンター事務所で14回開催し33名の参加がありました。その結果、新規入会者は32名(男性23名 女性9名)で、5年度末現在の会員数は280名(男性191名 女性89名)、女性会員の割合は32%となりました。

#### ・シニア活躍セミナーなど

会員に限定することなく概ね60歳以上を対象に広報紙「いきいきかわら版」やチラシで参加者を募集し20講座ほど開催しました。新たな非会員の参加も見られその終了時にセンターについて職員が案内しました。また、中には会員と非会員の会話が弾み入会を勧誘している場面も見られました。アンケート結果ではシルバーに関心を持ったとの回答も得ているので今後の入会に繋がるものと期待しています。

#### ・プラム会員及び夫婦会員制度

高齢により就労が困難な方でも会員でいただくことで生きがいや健康づくりに積極的に取り組んでもらえるプラム会員制度や夫婦で入会される特典などをセンター窓口や「しるばーだより」で周知しました。

### (2) 女性会員の拡大

・女性部会の企画によるセミナーなどを「いきいきかわら版」やチラシで周知し新たな女性会員の入会に努めました。新規事業として女性のためのセルフケアプログラムを4講座実施し57名の参加を得ました。

### (3) 普及啓発活動

#### ・広報

センター事業が町民及び企業に理解いただけるよう「いきいきかわら版」を新聞折り込みで各世帯に7月と1月の年2回発行しました。また、毎月第3木曜日に会員を対象に「しるばーだより」を発行しました。求人情報や各種教室案内、教室などでの作品紹介など親しみやすく読みやすい紙面づくりに取り組みました。会員募集やシニア活躍セミナー案内などのチラシを神田・稲部・三和地区は5月と10月に新聞折込で、ネオポリス地区は毎月ポスティングで各戸に配布しました。

#### ・地域貢献

毎年シルバーの日に各地域の幼稚園・保育園で清掃除草活動を行っています。

今年度も9月30日(土)に実施し多くの会員の参加を得、施設がきれいになりました。例年、この活動がプラムチャンネルや「広報とういん」で取り上げられセンターを知っていただき、理解いただくことに繋がっています。

- ・七夕飾り

女性部会が七夕にちなんで笹飾りを3本用意し2本を幼稚園・保育園に届け園児たちが願い事を書いて飾り付けし、園だよりに掲載いただき保護者にセンターを周知できました。また、センターを訪れる会員に願い事を書いていただき、道路に面した箇所に飾り付けてセンターをPRしました。

- ・他団体催事への参加

8月に総合文化センターで開催された東員町シニア文化作品展にシルバー人材センターのコーナーを設け会員から46点の作品が出展されました。9月に同所のひばりホールで開催された「東員町シニアのつどい」にコーラスが出演し日頃の練習の成果を発揮し会場から大きな拍手をいただきました。また、中部公園で開催された商工祭でもブースを設け啓発物品の配布や物販を行いました。いずれもセンターを広く周知することができました。

- ・しるばーもちつき大会

地域の方々と交流を図りセンターを知っていただくことを目的に恒例の餅つき大会を12月9日(土)に開催し天候にも恵まれ650人ほど来場されました。

- ・全国誌月刊シルバーへの掲載

普及啓発委員による保育園児のクリスマスリースづくり支援と女性部会のコーラスの集いによる保育園へのクリスマス訪問がこれからのセンターのあり方の先駆的事例として全国誌月刊シルバーで紹介されました。

#### (4) 独自事業の拡大

- ・軽作業等無理なく就業できる独自事業として女性部会が水引細工や稲わら正月リースづくりに取り組み販売しました。また、新たにファブリックリースづくりにも挑戦し商工祭で販売しました。

## 2 地域に深く根ざした仕事づくり

### (1) 福祉・家事支援事業

- ・高齢者宅などを訪問し家事サービス提供する「まごのてサービス」を定期的や単発的に実施しました。また、高齢者宅で発生する家具などの大型ゴミ処分の依頼も受けています。

### (2) 市場調査研究

- ・町内各戸に町の広報紙「広報とういん」等を配布する業務を受託可能か会員に

意向調査などを実施しましたが、十分な配布員を確保できず受託を断念しました。

### 3 安全・健康、笑顔で働く職場づくり

#### (1) 安全就業の徹底

##### ・安全パトロール

安全第一・事故ゼロを目指して、安全・適正就業委員会委員及び職員による会員就業現場への安全パトロールを8回実施しました。

##### ・三重県シルバー人材センター連合会による安全パトロール

9月15日(金)に三重県 SC 連合会職員2名、四日市市 SC 2名、桑名市 SC 3名、いなべ市 SC 2名により、東員町建設課土木作業への派遣業務及び東員町資源ごみストックヤード管理業務の安全パトロールが行われ、現場確認後、積極的な意見交換を行いました。

##### ・注意喚起

本センターで発生した事故はもとより、全国での重篤事故事例を毎月「しるば一だより」に掲載し、会員からは事例を目にするたびに気が引き締まるなどの声が聞かれました。また、事務所に安全就業のポスターを掲示しているとともに、職員による会員への声掛けに努めています。

##### ・事故件数

しかしながら、本年度別記のとおり6件の事故が発生しました。また、熱中症対策として頻繁な文書による注意喚起や種なし梅干しを配布しましたが熱中症が2件発生しました。いずれも処置が早く軽症で翌日には回復されました。

#### (2) 健康管理の促進

##### ・情報提供

「しるば一だより」やSMS(ショートメッセージサービス)で健康管理の情報提供や健康診査の受診を奨励しました。

##### ・健康増進とフレイル予防

年間を通じてシニア活躍セミナーなどを積極的に展開し会員をはじめ町内高齢者の健康増進とフレイル予防に努めました。

### 4 取り組みを支える基盤づくり

・東員町及び国からそれぞれ10,575,000円の補助金交付を受け適正に執行しました。

・昨今の燃料・資源価格の高騰と円安による影響で物価高が続いていることから

配分金に係る事務費率を8%から10%に改定し、利用者の理解を得ながら安定収入に努めました。

- ・10月1日からインボイス制度が導入されましたが会員に納税負担を求めずに当面はセンターで対応することとしています。

- ・SMS（ショートメッセージサービス）の電話番号登録やスマートフォン上の会員専用サイト開設に伴う相談会、スマートフォン教室などを開催し会員のデジタル利用の促進に努めました。